株主のみなさまへ

第149期 第2四半期連結累計期間
株主通信

平成26年4月1日～平成26年9月30日

マツダ株式会社

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼を申しあげます。

マツダグループの第149期 第2四半期連結累計期間の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申しあげます。

業績の概況

当中間期のグローバル販売台数は、販売好調な「マツダ CX-5」に加え、新型「マツダ アクセラ」(海外名:Mazda3)がグローバルで貢献したことにより、前年同期比6.0%増の66万9千台となりました。連結売上高は1兆4,539億円、営業利益は1,040億円、当期純利益は933億円となりました。2014年9月に日本より導入を開始した新型「マツダ デミオ」(海外名:Mazda2)は好調な滑り出しとなり、予約販売開始から累計受注台数が約2万台となりました(10月26日時点)。また、「2014-2015日本カー・オブ・ザ・イヤー」という名誉ある賞を受賞できたことを心から光栄に思います。

通期の営業利益見通しは、各国の販売環境や金融市場動向を慎重に見極める必要もあり、期初計画の2,100億円に据え置きました。期末配当につきましても、期初計画通り1株当たり10円を予定しています。

「構造改革プラン」の進捗

当期中に新型コンパクトクロスオーバーSUV「マツダ CX-3」の導入を開始し、コアモデルのラインアップの拡充を図ります。SKYACTIV搭載比率は70%まで増加する見通しです。また、メキシコ新工場の稼働は順調で、7月には2直生産体制に移行、10月からは新型「Mazda2」の生産を開始し、エンジン機械加工工場も予定通り稼働開始しました。今後、年間生産能力を25万台まで増強する計画です。

引き続き、マツダらしい魅力ある商品とサービスの提供を通じ、「信頼され、選ばれ続ける」ブランドを目指すとともに、安定的な収益構造の実現に向けて経営基盤の強化を進めてまいります。株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご指導を賜りますようお願い申しあげます。

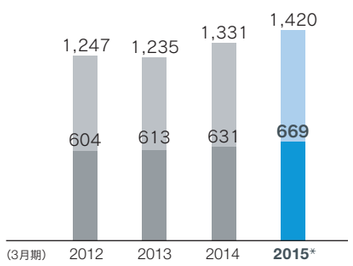
2014年11月

代表取締役社長兼CEO(最高経営責任者)

小飼雅道

グローバル販売台数

(千台) ■通期 ■■第2四半期累計 ■通期見通し



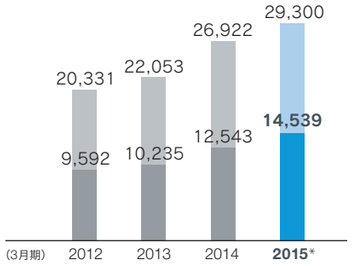
2015年3月期第2四半期累計

66万9千台

前年同期比**6.0%増**

売上高

(億円) ■通期 ■■第2四半期累計 ■通期見通し



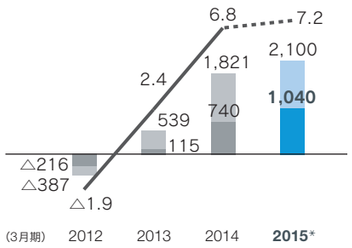
2015年3月期第2四半期累計

1兆4,539億円

前年同期比**15.9%増**

営業利益(△損失)/売上高営業利益率

(億円/%) ■通期 ■■第2四半期累計 ■通期見通し
━売上高営業利益率(通期)



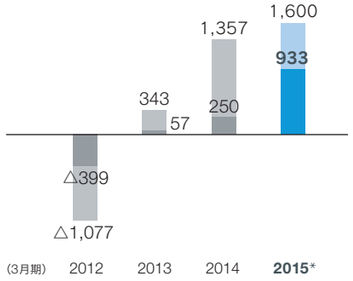
2015年3月期第2四半期累計

1,040億円

前年同期比**40.6%増**

当期純利益(△損失)

(億円) ■通期 ■■第2四半期累計 ■通期見通し



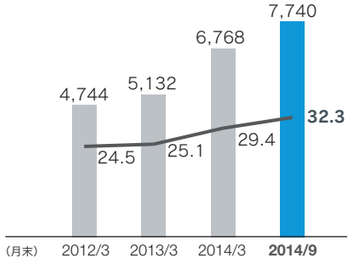
2015年3月期第2四半期累計

933億円

前年同期比**273.4%増**

純資産/自己資本比率

(億円/%) ■■純資産 ━自己資本比率



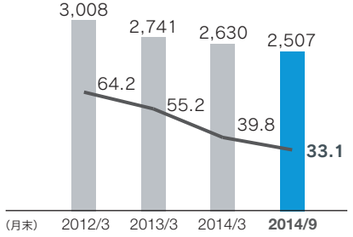
2014年9月末

自己資本比率 **32.3%**

2014年3月末比**2.9pt上昇**

純有利子負債/純有利子負債自己資本比率

(億円/%) ■■純有利子負債 ━純有利子負債自己資本比率



2014年9月末

純有利子負債自己資本比率 **33.1%**

2014年3月末比**6.7pt改善**

* 2015年3月期通期は見通しです。業績見通しには、リスクや不確定要素が含まれており、実際の業績とは大きく異なる結果となる場合があります。

クラス概念を打ち破る新世代コンパクト

MAZDA DEMIO

海外市場での車種名：Mazda2

エコカー減税 *1　クリーンディーゼル補助金 *1　SKYACTIV TECHNOLOGY

スタイル	5ドアハッチバック	
エンジン	ガソリン：1.3L	ディーゼル：1.5L
燃費 *2 (JC08モード)	ガソリン：21.8 ～ 24.6km/L	ディーゼル：26.4 ～ 30.0km/L
価格帯 *3	135 ～ 219（万円）	

*1. 減税額および対象グレードについては販売店にお問い合わせください。
*2. 国土交通省審査値。燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用時等）に応じて燃料消費率は異なります。
*3. 記載の価格はメーカー希望小売価格（消費税8%込。1 万円未満は切り捨て）です。別途リサイクル料金が必要となります。

新型「マツダ デミオ」を順次グローバルに導入開始

マツダは、新型「マツダ デミオ」を日本から順次グローバルに導入を開始しました。新型「デミオ」は、「SKYACTIV技術」とデザインテーマ「魂動（こどう）」を全面的に採用した新世代商品の第４弾で、目指した姿は「クラス概念を打ち破る新世代コンパクト」。あらゆる領域の品質・技術を徹底的に見直し、「CX-5」以降の新世代商品で一貫して培ってきた新しいマツダの技術やデザインの考え方の全てをコンパクトなボディに凝縮させました。

新型「デミオ」は、「SKYACTIV技術」に加え、ドライバーの危険認知・判断をサポートする先進安全技術「i-ACTIVSENSE」や、新世代カーコネクティビティシステム「MAZDA CONNECT（マツダ コネクト）」、理想的なドライビングポジションやペダル配置、安全優先のヒューマン・マシン・インターフェイス（HMI）などの最新装備も幅広く採用しています。

新開発　環境性能と走る歓びを両立した新世代クリーンディーゼルエンジン「SKYACTIV-D 1.5」

新型「デミオ」に搭載された「SKYACTIV-D 1.5」は、低圧縮比を採用しながら「理想の燃焼」を追求したことにより、高価なNOx後処理装置無しで高い環境性能を実現しながら、2.5Lガソリンエンジン並みのトルクフルな走り、かつ、高回転までリニアに加速する優れた動力性能を実現しています。また、アイドリングストップ技術「i-stop」、減速エネルギー回生システム「i-ELOOP」などと組み合わせることにより、ハイブリッド車、軽自動車を除く、内燃機関搭載車としては最高のモード燃費*と大幅な実用燃費の改善を実現しています。

* 2014年6月1日現在、2L以下の小排気量ディーゼルエンジン　マツダ調べ

7月 JULY

販売

台湾で新販売統括会社の営業を開始し、同国における販売力を強化

ブランド

国内で新コンセプトの販売店「新世代店舗」の順次展開を発表

新世代店舗を、国内市場におけるマツダブランドの発信・体験拠点として活用していきます。

神戸マツダ 灘店

8月 AUGUST

クルマ・技術

子どもの安全・安心に配慮した自動車技術が第8回キッズデザイン賞「内閣総理大臣賞」を受賞

マツダの自動車技術「MAZDA TECHNOLOGY FOR KIDS」が第８回キッズデザイン賞の最優秀賞となる「内閣総理大臣賞」を受賞しました。自動車技術では初の受賞となります。

KIDS DESIGN AWARD 2014

9月 SEPTEMBER

クルマ・技術

新型「マツダ ロードスター」を世界初公開

「SKYACTIV技術」とデザインテーマ「魂動（こどう）」を採用。2015年よりグローバルに導入する予定です。

新型「マツダ ロードスター」

9月 SEPTEMBER

クルマ・技術

「SKYACTIV技術」のディーゼルエンジン「SKYACTIV-D」搭載車の国内販売台数が累計10万台を達成

「SKYACTIV-D」搭載車の国内販売台数が、2012年２月の「CX-5」導入以降２年７カ月で、10万台を達成。マツダは今後も、「SKYACTIV-D」のさらなる普及によって国内ディーゼル乗用車市場をけん引していきます。

生産

タイで新型「Mazda2」の生産を開始

今後、オセアニアやASEAN市場向けの新型「Mazda2」を順次生産開始するとともに、メキシコでも同モデルの生産を開始し、グローバルな供給体制の整備を進めていきます。

10月 OCTOBER

販売

南アフリカで新販売統括会社の営業を開始

マツダブランドおよびビジネスのさらなる強化・拡大を図ります。

クルマ・技術

米国環境保護庁（EPA）が公表した2013モデルイヤー車の燃費トレンドレポートの「企業平均燃費値」で２年連続総合１位獲得

クルマ・技術

ロサンゼルスオートショーにて新型コンパクトクロスオーバー SUV「マツダ CX-3」を世界初公開

11月21日から開催のロサンゼルスオートショーで、新世代商品の第５弾となる新型「CX-3」を世界初公開。当期より順次グローバルに導入を開始する予定です。

新型「マツダ CX-3」

市場別ハイライト

販売台数（千台）

■通期　■■第2四半期累計　■通期見通し

日本市場

90 千台

（前年同期比18%減）

- 販売台数は前年同期比18%減の9万台
- 好調な「アクセラ」の販売が、消費税の影響を一部オフセット。9月に導入した新型「デミオ」の受注は好調
- 通期の販売台数は同8%減の22万5千台の見通し

北米市場

226 千台

（前年同期比14%増）

- 販売台数は前年同期比14%増の22万6千台
- 米国では、同15%増の16万3千台。「CX-5」、「Mazda6」、新型「Mazda3」のバランスのとれた販売構成で台数成長を達成。フリート販売を引き続き抑制
- メキシコでは、過去最高の販売台数とシェアを達成
- 通期の販売台数は同13%増の44万台の見通し

欧州市場

114 千台

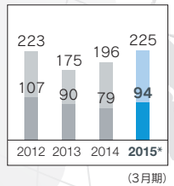
（前年同期比18%増）

- 販売台数は前年同期比18%増の11万4千台
- 新型「Mazda3」が台数増に貢献。「CX-5」も引き続き好調を維持
- 主要マーケットであるドイツ（同21%増）、英国（同12%増）は引き続き好調。ロシアも総需要が落ち込む中、同14%増を達成
- 通期の販売台数は同11%増の23万台の見通し

中国市場

94 千台

（前年同期比19%増）



- 販売台数は前年同期比19%増の9万4千台
- 「CX-5」に加え、5月に導入した新型「Mazda3」、新型「Mazda6」の販売は好調に推移
- 通期の販売台数は同15%増の22万5千台の見通し

その他市場

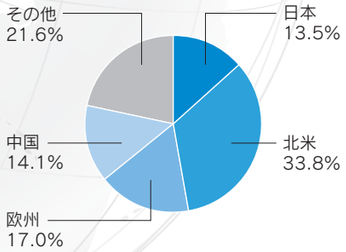
145 千台

（前年同期比1%減）

- 販売台数は前年同期比1%減の14万5千台
- オーストラリアでは、需要が弱含む中、販売台数は同4%減となったものの、「CX-5」はセグメント販売台数1位を獲得、新型「Mazda3」の販売も好調に推移
- ASEANでは、需要回復が遅れるタイで販売減も、マレーシア、ベトナムなどで販売増
- 通期の販売台数は同2%増の30万台の見通し

グローバル販売台数

66万9千台（前年同期比6%増）



* 2015年3月期通期は見通しです。業績見通しには、リスクや不確定要素が含まれており、実際の業績とは大きく異なる結果となる場合があります。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：億円）

	2014/9末	2014/3末
資産の部		
流動資産	12,001	11,325
固定資産	11,431	11,135
有形固定資産	8,916	8,660
無形固定資産	251	228
投資その他の資産	2,264	2,247
資産合計	23,432	22,460

	2014/9末	2014/3末
負債の部		
流動負債	8,380	8,121
固定負債	7,313	7,571
負債合計	15,692	15,692
純資産の部		
株主資本	6,820	5,888
その他の包括利益累計額	747	719
少数株主持分	173	161
純資産合計	7,740	6,768
負債純資産合計	23,432	22,460

* 記載金額は億円未満の端数を四捨五入しています。

連結損益計算書（要旨）

（単位：億円）

	2014/4-2014/9	2013/4-2013/9
売上高	14,539	12,543
売上総利益	3,891	3,178
営業利益	1,040	740
経常利益	1,071	363
税金等調整前四半期純利益	1,070	339
四半期純利益	933	250

* 記載金額は億円未満の端数を四捨五入しています。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：億円）

	2014/4-2014/9	2013/4-2013/9
営業活動によるキャッシュ・フロー	826	77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 632	△ 492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 132	△ 136
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	45
現金及び現金同等物の増減額（△減少額）	90	△ 506
現金及び現金同等物の期首残高	4,798	4,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,888	3,942

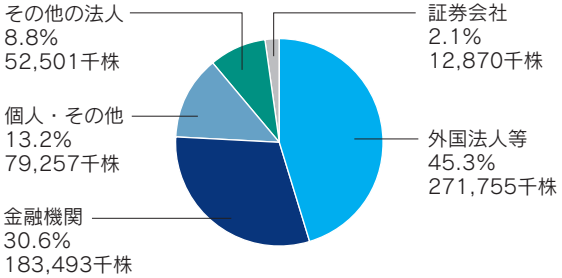
* 記載金額は億円未満の端数を四捨五入しています。

株式の状況（平成26年9月30日現在）

発行可能株式総数	1,200,000,000株
発行済株式総数	599,875,479株
株主数	108,251名 （前期末比8,936名減少）

（注）当社は、平成26年8月1日付で、5株を1株とする株式併合を実施しています。また、同日付で、発行可能株式総数を1,200,000,000株、単元株式数を100株としています。

所有者別状況



大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	41,859	7.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	34,439	5.8
株式会社三井住友銀行	12,857	2.2
FORD MOTOR COMPANY ACCOUNT FOR MAZDA SECURITIES	12,462	2.1
住友商事株式会社	10,681	1.8
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	9,047	1.5
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	8,328	1.4
三井住友海上火災保険株式会社	8,136	1.4
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	7,660	1.3
SAJAP	7,105	1.2

（注）持株比率は、自己株式2,046,923株を控除して計算しています。

IRサイト「株主・投資家情報」をご活用ください。

社長メッセージや決算情報、プレゼンテーション資料など、さまざまな情報を掲載しています。

http://www.mazda.com/jp/investors/

会社概要（平成26年9月30日現在）

商号	マツダ株式会社
設立	大正9年1月30日
資本金	258,957,096,762円
従業員数	連結：43,880名　単独：20,519名
本社	〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3番1号 電話（082）282-1111
ホームページURL	http://www.mazda.com/jp/

取締役および監査役

代表取締役会長	金井 誠太	取締役	坂井 一郎
代表取締役	小飼 雅道	取締役	牟田 泰三
代表取締役	丸本 明	監査役（常勤）	栃尾 信義
取締役	原田 裕司	監査役（常勤）	河村 裕章
取締役	中峯 勇二	監査役	赤岡 功
取締役	稲本 信秀	監査役	平澤 正英
取締役	黒沢 幸治	監査役	堀田 隆夫

株主メモ（平成26年9月30日現在）

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日
公告方法	電子公告 http://www.mazda.co.jp/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
・郵便物送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
・電話お問合せ先	0120-782-031
・ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	100株
証券コード	7261

VEGETABLE OIL INK

本誌は植物油インキを使用しています。